

## シンガポール最大の祭典「チンゲイ・パレード」に 鹿児島県団体が参加

～鹿児島県とシンガポールによる芸術文化交流～

旧正月を祝うシンガポール最大の祭典「チンゲイ・パレード」が2月19日・20日に開催され、国内外の参加者とともに鹿児島県からは国分中央高等学校が参加イベントを盛り上げました。

### ○旧正月を彩るチンゲイ・パレード

チンゲイ・パレードは旧正月を祝う催事として1973年に始まり、国内外からのパレード参加者はそれぞれコスチュームをまとい、舞踊やマーチングバンド、創作ダンスなど多種多様なパフォーマンスで観衆を盛り上げます。

今年のチンゲイ・パレードは「Lights of Legacy, Creative Singapore」をテーマに、海外からの参加者約800人を含む約8,000人が参加し多彩なパフォーマンスを披露しました。2日間実施したパレードには、リー・シェン・ロン首相やトニー・タン大統領はじめ約18万人が来場しました。



チンゲイ・パレードを盛り上げる  
国内外からの参加団体

### ○チンゲイ・パレードに鹿児島県団体が参加！

これまで鹿児島県とシンガポールは、「鹿児島・シンガポール交流会議」を核に幅広い交流を展開していますが、その交流の1つが芸術文化交流です。同交流では相互に芸術文化団の受入や派遣を行っており、今年は鹿児島県から国分中央高等学校がチンゲイ・パレードに参加しました。当日は大勢の観衆を前に、三味線を使用した音楽に合わせて優雅に咲き乱れる花をイメージした創作ダンス「百花繚乱」を披露し大きな喝采を受けました。

また、同パレードの翌日に開催されたチンゲイ・ナイトフェスタでも、奄美大島の伝統工芸品「大島紬」や「結い」の精神をヒントに創作したダンスを披露し会場を沸かせました。またパレードやナイトフェスタの期間中、生徒らは国内外の様々な参加団体と交流を重ね親交を深めました。

今後も両者は鹿児島・シンガポール交流会議に基づく相互交流を予定しており、交流の更なる深化が期待されます。

(三原所長補佐 鹿児島県派遣)



チンゲイ・パレードで演出する  
国分中央高等学校の生徒ら